

2009年度
事業報告書

アジア・コミュニティ・センター21

2009年度（第5期）：自 2009年4月1日 至 2009年12月21日
（残務整理完了日：2010年1月22日）

（特活）アジア・コミュニティ・センター21

2009年度（第1期）：自 2009年10月20日 至 2010年3月31日

目 次

I. 事業に関する事項

1. 全体報告

2. 各事業の主な実施内容
 1. ACT 推進事業
 2. アジア貧困半減推進事業
 3. 日比NGO協働推進事業
 4. 人材育成事業
 5. その他の事業
 6. 広報・啓発事業

II. 組織の運営・処務に関する事項

1. 総会
2. 役員
3. 理事会の開催
4. 職員
5. 正会員
6. 賛助会員

I. 事業に関する事項

1. 全体報告

2009年度は、任意団体アジア・コミュニティ・センター21としての最終年度であり、新しく設立された特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21が事業を引き継ぐ節目の年となった。

2009年度は、前年度に引き続き「特定非営利活動法人」格取得に向けての準備を進めた。2009年5月11日に設立総会を開催して定款、役員、事業計画、予算などの審議を経て設立が決議された後、同年6月11日に東京都に認証申請書類を提出した（その後、都から求められた申請書類の軽微な事項の修正を反映した補正書類を同年10月6日）。同年10月8日付で東京都より認証書を受けた後、東京法務局に法人登記申請を行い、**2009年10月20日に「特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21」が成立した。**

任意団体は2009年12月21日の臨時総会において解散が決議され、さらに残余財産は（特活）アジア・コミュニティ・センター21に寄付することが決議された。

2. 各事業の主な実施内容

2009年度はとくに、「4. 人材育成事業」として新しく開始した「1) アジア NGO リーダー塾」（財団法人 MRA ハウスからの助成）、「2) フィリピン支援に関わる NGO 役員・職員の研修プログラム」（財団法人地球市民財団との共催）など、日本の国際協力 NGO の能力強化と優秀な人材を育成する活動に取り組んだ。

1. ACT 推進事業

2009年3月に決定された2009年度助成事業15件（助成総額2,363万円）および特別基金「大和証券グループ津波復興基金」による津波復興支援事業3件（助成総額715万円）の実施団体と助成事業に関する連絡調整を通年行うとともに、アジア各国からの助成申請に関わる問い合わせに対応した。

そしてこの間、2009年6～7月にインド、スリランカ、インドネシアを、2009年8～9月にはフィリピン、カンボジア、ベトナムを訪問し、これらの国において助成事業のモニタリングと2010年度に向けての新規支援事業の発掘調査を行った。これらの結果を踏まえ、2009年12月のACT運営委員会（津波復興支援事業の審査）と2010年3月のACT運営委員会で、それぞれ審査資料を作成し、提出した。助成団体決定後は、助成金送金の補佐・フォロー活動を行った。

(2009年度収入：6,593,549円、支出：6,593,590円)

2. アジア貧困半減推進事業

1) 草の根金融（マイクロファイナンス）支援メカニズムの構築事業

3年計画が終了した前年度よりも規模は小さくなったものの、引き続きマイクロファイナンスに関する情報収集、とくに日本国内に初めて設立されたマイクロファイナンス・ファンド、ボンドに関する情報収集を行った。また、2009年8月にはフィリピン最大のマイクロファイナンス機関 CARD MRI と Pinoy ME Foundation を日本のファンド関係者に紹介したほか、9月に別プロジェクトで訪問したベトナムでマイクロファイナンス機関と実施地域の訪問を行った。

(2009年度収入：0円、支出：2,711円)

2) 持続可能な農業普及事業

当センターが申請した「アジア自然農業普及プロジェクトーインド、インドネシアの現地 NGO および農民組織と連携した技術マニュアル出版・普及と農民トレーナーの育成ー」が財団法人トヨタ財団により採用され、2年間（2009年11月～2011年10月）で計550万円の助成金が承認され、2009年11月より事業を開始した。

本事業では、インドネシア（Bina Desa）およびインド（SARRA）の現地 NGO と連携し、韓国の趙漢珪（ちょう・はんきゅう）博士による現地での農民・農業技術者への技術指導、英語および現地語（インドネシア語、ヒンディー語、テルグ語）の技術マニュアル発行、ウェブサイトでの情報共有・公開を行う。2009年11月～2010年3月にかけては、インドネシアおよびインドの実施パートナー団体との間で技術マニュアル書のドラフト原稿作成に関する連絡調整、2010年6月開催のインドネシアでのトレーナー対象トレーニングの準備などを主に行った。

(2009年度収入：470,000円、支出：525,545円)

3) カンボジア子ども支援事業

カンボジア子ども支援事業（東京西南ロータリークラブ助成）3年度

前年度に引き続き、カンボジア王国コンポンスプー州パン・ラヴェア郡の4村のコミュニティ幼稚園の設立・運営支援を行った。

2008年8月末で2年目が終わり、以降は現地実施団体 APCA との連絡調整、支援団体である東京西南ロータリークラブへの定期報告を行い、2009年9月には現地においてモニタリングを実施した。同月、東京西南ロータリークラブより3年目の承認を受け（寄付総額125万円）、2009年9月より実施3年目に入った。2009年末現在、園児126名。

(2009年度収入：1,250,000円、支出：1,147,120円)

3. 日比NGO協働推進事業

1) 「日比NGOネットワーク（JPN）」事務局

(JPN：フィリピンに関わる日本のNGOネットワーク)

(特活)ビッキス・ソーシャルネット（旧(特活)日本ヌエバエシハ・ファウンデーション）、(財)アジア保健研修財団 アジア保健研修所が2009年5月に、(特活)ソルト・パヤタスが10月に入会した。2010年3月末現在のJPNメンバー数は17団体、3個人となった。

2009年度は、計5回のJPN会合を開催した。

【第29回】2009年4月23日（木）

議題：第2回日比NGOシンポジウム報告書の完成と配布について／2009年度世話人の選任／「対比国別援助計画フォローアップ協議会」に関する外務省からの返答について／「日比NGO協働基金推進委員会」について／分科会活動と資金開拓について／フィリピンに関わるNGOの役職員の研修と協力関係の構築事業について／その他

【第30回】7月13日（月）

議題：外務省での会合の報告と評価について／外務省「コミュニティ開発無償」制度の利用の可能性について／PJPの最近の状況報告／比に関わるNGOの役職員の研修プログラムについて／新メンバー紹介／その他

【第31回】10月29日（月）

議題：台風16号被災者支援の中間報告について／日比NGO協働基金構想に関するPJPとの話し合いについて／対比国別援助計画に関する次回の外務省との会合について／分科会活動の進め方について／フィリピン支援に関わるNGO役員・職員の研修プログラムの進行状況について／その他

【第32回】12月25日（金）

議題：PJP提案のフィリピンでの第3回日比NGOシンポジウムについて／対比国別援助計画フォローアップと外務省との会合について／台風16号被災者支援について／比に関わるNGOの役職員の研修について（中間報告）／来年度の計画について／その他（PJPメーリングリストについて）

【第33回】2010年2月16日（火）

議題：来年度の計画（案）について／日比NGO協働基金構想について／PJPメーリングリストについて／台風16号被災者支援について／ゲスト紹介：砂川元克氏（アイマージオンラインインターナショナル株式会社）、永山昌宏氏（在日フィリピン商工会議所）／その他

2) 日比NGOシンポジウムのフォローアップ活動

2008年7月17日～19日に東京で開催した第2回日比NGOシンポジウム「ミレニアム開発目標に向けてのフィリピン貧困層のエンパワーメント—日比NGOのパートナーシップの構築—」のフォローアップ活動。とくに、「日比NGO協働基金」推進委員会（2008年11月設置）、「対フィリピン国別援助計画」のフォローアップに関する次の活動を行った。

「日比NGO協働基金」推進委員会、他

- ・ 日比NGO協働基金 戦略会議：2009年5月28日（木）
- ・ 8月21日（金）10：30～12：00 日比NGO協働基金推進委員会 会合開催（フィリピン側が提案したペーパーの検討）
- ・ 2009年9月4日：フィリピンにおいて伊藤代表理事がフィリピン側関係者と会合
- ・ 「対比国別援助計画」に関する外務省との非公式会合：2009年6月4日（木）10：30-12：00
- ・ 学習会の開催：平和構築分科会「ミンダナオに住む松居友氏から聞く—ミンダナオの戦闘と避難民の現状」 2009年11月2日（月）

(2009年度収入：193,000円、支出：193,000円)

4. 人材育成事業

1) 「アジア NGO リーダー塾」

日本が地理的、歴史的、経済的に深いつながりを持つ“アジア”の中で、国境を超えて、助け合いと協働の精神に基づく公正な社会の発展をめざす「21世紀を担う NGO 起業家」の支援を目的に、(財) MRA ハウスから助成を受け、5年計画(2009～2014年度)で、本年度より開始した。5年間で計40名の人材を育成することを目指す。

初年度となる2009年度は、応募者数が限られたこともあり、募集を6月、9月と2回行った。その結果、応募総数17名から運営委員(5名)による書類選考・面接を経て6名を採用した(しかし、採用後、勤務先の事情等により2名が辞退)。その後、一般受講生7～8名を募集し、塾生を中心に毎回計10～15名の受講生を確保し、講座を10月から2010年2月末までに計10回実施した。途中、定期的に参加する一般受講生から5名を選び、準塾生として塾生に準じる指導を行った。2010年3月には、塾生による成果報告会を公開で行った。

第1群カリキュラム(2009年10月～11月)

第1群では、新規事業立ち上げに必須となる基礎知識を学ぶため、市民社会と公益法人制度、国際交流と社会変革、国境を超える市民活動などのテーマを設定し、それぞれの分野のパイオニア的リーダーを講師として招き講座を開いた。講座は、講義(90分)と質疑応答・意見交換会(60分)の時間を設け、講師—塾生・受講者間の活発な議論を通して問題意識の深化を図った。全体を通して、受講生のみならず、講師からも講座への高い評価を得た。

【第1回】2009年10月10日(土) 「21世紀社会へ”市民資本セクター”をつくる」

講師：横田克巳氏(生活クラブ生協・神奈川県名誉顧問)

【第2回】10月17日(土) 「日本の市民社会と新公益法人制度」

講師：太田達男氏(公益法人協会理事長)

【第3回】10月31日(土) 「国際交流と社会変革」

講師：山本正氏(日本国際交流センター理事長)

【第4回】10月31日(土) 「国際交流と社会変革」

講師：吉岡達也氏(ピースボート共同代表)

【第5回】11月7日(土) 「国境を超える市民活動」

講師：伊藤道雄氏(ACC21代表理事)

【第6回】11月7日(土) 「JVC 立ち上げから G8NGO フォーラムまでの軌跡」

講師：星野昌子氏(日本国際ボランティアセンター 特別顧問)

【第7回】11月21日(土) 「グローバル・ガバナンスと NGO の役割」

講師：廣野良吉氏(成蹊大学名誉教授)

第2群カリキュラム(11月末～1月中旬)

当初、第2群では、アジアの主要課題を取り上げ現場経験豊富な NGO リーダーによる講座を予定していたが塾生からの強い要望により、各自の問題意識に沿って研修を行う「国内自己研修」にカリキュラムを変更した。塾生は、それぞれの問題意識とテーマに沿って、広島県、福岡県、山形県等の関係団体を訪問、情報収集に努める一方、問題意識の追求と解明を行った。

なお、研修に先立ち、「貧困・子ども」をテーマに、貧困の犠牲となっている子ども支

援を子ども自らが行う団体を立ち上げた事務局長を招いて勉強会を開催した。

【勉強会】2009年11月27日(金)

講師：中島早苗氏（フリー・ザ・チルドレン・ジャパン=FTCJ 事務局長）

第3群カリキュラム（2010年2月～3月）

第3群では、第2群で深めた問題意識を事業として実現させるため、事業運営に必要な資金開拓、人事管理、ボランティア・マネジメントについて、実績を持つNGO起業家を招き講座を開催した。

【第8回】2月6日(土)「組織・事業の立ち上げとマネジメントⅠ」

講師：大西健丞氏（ピースウインズ・ジャパン代表理事）

【第9回】2月6日(土)「NGO事業運営とボランティア・マネジメント」

講師：近田真知子氏（地球市民ACT かながわ 代表）

【第10回】2月20日(土)「組織・事業の立ち上げとマネジメントⅡ」

講師：西村美也子氏（第3世界ショップ基金 代表）

海外研修（2010年2月、3月）

海外の自己研修に参加した塾生は2名。期間は各2週間。1名は、地域の活性化と農村交流をテーマに、フィリピン農村の住民組織で2週間の研修。他の1名は、アニメを使った平和活動をテーマに、フィリピンとタイの大学やNGOを訪問・活発な交流を行った。帰国後も、訪問先の団体関係者の日本訪問を受け、塾生が立ち上げた学生団体の輪が広がっている。

成果発表会（2010年3月22日）

半年間に亘る全10回の講座、国内・海外での自己研修の成果をまとめ、事業構想を発表する公開発表会を開催した。2009年度の塾生3名が発表した内容は、次のとおり。発表会にはNGOやソーシャル・ビジネスに関心のある学生や、非営利活動に関わっている社会人など30名が参加し、塾生の発表を聞くとともに活発な意見交換が行われた。

<2009年度塾生の発表内容>

①すでに団体として活動を開始している、アニメを通じて平和を訴える「アニメピース」活動の進捗と海外研修（フィリピン、タイ）の報告

②日本とアジアの農村地域の人材・経験交流と特産品の開発などの構想、海外研修（フィリピン）の報告

③NGOの組織基盤強化のための中間組織の構想

（2009年度収入：2,900,000円、支出：2,164,072円、うちオーバーヘッド196,734円）

*差額735,928円は、次年度事業へ充当

2) フィリピン支援に関わるNGO役員・職員の研修プログラム

本事業（正式名称「アジアの途上国支援に関わる市民組織（NGO）役職員の研修と相互協力の推進」）では、2009年度はフィリピンで活動するNGO、とくに中小規模NGO役員・職員の組織・事業運営能力向上と、日比間の協力関係構築を支援することを目的に、(財)地球市民財団との共催（協力：日比NGOネットワーク）で実施した。参照：<http://ameblo.jp/acc21/>

計8回の研修で、27団体、総勢67名が参加し、フィリピンの社会、支援活動のモニタリングの方法や活動の宣伝・広報などについて学ぶことができた。実践者他、研究者、ジャーナ

リストの方を講師として迎えたことで、研修内容がより専門的な内容となった。学んだことを実践に移すには時間がかかるため、研修の効果をより厳密に把握するためには、今後、各団体にフォローしていく必要があるが、日々の活動に取り入れていきたいという声は多くあった。

自己紹介の時間と休憩を取り、質疑応答の時間を長く取ったことで、研修参加者同士の会話が生まれ、毎回の研修終了後には、参加者同士が名刺の交換を行っている様子が見られた。とくにワークショップでは、参加団体のフィリピンでの活動について情報交換ができ、知見を深める機会となった。

◆2009年度に実施した研修内容*

<p>第1回 「課題の共有とプログラム説明会」 2009年8月12日(水) 14:00-17:00 場所:アジア文化会館 129号室</p> <p>参加人数:15名 第1部:ゲストを囲んで 二瓶麻里(ビックス・ソーシャルネット)「フィリピン人から見た日比間の交流と協力」 小林由紀男(ソーシャル・マネジメント研究所、シェア＝国際保健協力市民の会、事務局長) 「組織の財務改善・強化を図るための社会との関係性を考える」 第2部:研修プログラムに関する意見交換</p>
<p>第2回 「効果的なイベント広報を考える」 2009年9月26日(土) 14:30-17:00 場所:アジア文化会館 129号室 講師:小林由紀男(ソーシャル・マネジメント研究所、シェア＝国際保健協力市民の会、事務局長) 参加人数:10名</p>
<p>第3回 「フィリピンの政治のシステムと市民社会の役割」 2009年11月6日(金) 16:30-18:00 場所:早稲田奉仕園 講師:五十嵐誠一(早稲田大学社会科学総合学術院助教) 参加人数:10名</p>
<p>第4回 「フィリピン人の海外出稼ぎ (OFW) の現状と市民活動」 2009年12月4日(木) 17:00-19:00 場所:アジア文化会館 115号室 講師:小ヶ谷千穂(横浜国立大学教育人間科学部国際共生社会課程教員、DAWN-Japan(NGO)コーディネーター) 参加人数:9名</p>
<p>第5回 「参加型モニタリングと評価活動ワークショップ」 2009年12月26日(土) 09:30-17:00 場所:アジア文化会館 129号室 講師:長畑 誠(あいあいネット、専務理事) 参加人数:6名</p>
<p>第6回 「ジャーナリストの視点—何を見て、聞いて、どう読者に伝えるか」 2010年1月26日(火) 17:00-18:30 場所:アジア文化会館 112号室 講師:野中章弘(アジアプレス・インターナショナル代表) 参加人数:9名</p>
<p>第7回 「支援者の獲得活動を振り返り、改善策を考える」 2010年2月25日(木) 16:00-19:00 場所:アジア文化会館 129号室 講師:小林由紀男(シェア＝国際保健協力市民の会、事務局長) 参加人数:4名</p>
<p>第8回 (最終回) 「年次報告書におけるアピール力のある実績報告」 2010年3月25日(木) 16:00-19:00 場所:アジア文化会館 129号室 講師:小林由紀男(ソーシャル・マネジメント研究所、シェア＝国際保健協力市民の会、事務局長) 参加人数:4名</p>

(2009年度収入:1,025,849円 (ACC21の自己負担額含む)
支出:1,025,849円 (ACC21の事務管理費一部含む))

3) 助成担当オフィサー研修

(財)地球市民財団の助成事業選考に関わる担当者((社)日本青年会議所関係者)計13名を対象に、助成の効果をさらに向上させることを目的とした2日間の集中研修を行った(2010年1月9、10日。(財)地球市民財団からの委託)。

(2009年度収入:250,000円、支出:250,000円)

5. その他事業

1) 公益信託「今井記念海外協力基金」事務活動

- ・ 2009年3月開催の諮問委員会で決定された2009年度助成事業実施団体との連絡調整
- ・ 2008年度助成事業最終報告書提出の確認(6月)
- ・ 2010年度助成申請書フォームと募集要項案作成(10月)、募集要項公開(11月)
- ・ 本基金ウェブサイト(<http://www.imai-kikin.com/>)の情報アップデート
- ・ 2010年度申請事業資料作成(2010年1月~3月)、諮問委員会への出席(3月9日)

(2009年度収入:513,100円、支出:513,100円)

2) 公益信託「川上甚蔵記念国際文化教育振興基金」事務局活動

- ・ 2009年3月開催の運営委員会で決定された2009年度助成事業実施団体との協定書・送金に関する連絡調整(4月)
- ・ 2008年度助成事業2件(カンボジア2件)の最終報告書とりまとめ(6月)、2009年度事業の中間報告書のとりまとめ(2010年1月、2月)
- ・ 助成事業モニタリング(カンボジア:2009年9月)
- ・ 2010年度助成申請団体との連絡調整、運営委員会資料作成(2010年1月~3月)、運営委員会への出席(3月17日)

(2009年度収入:200,000円、支出:200,000円)

3) フィリピン台風「オンドイ」被災者緊急・復興支援

2009年9月26日にフィリピン・ルソン島を中心に襲った台風「オンドイ」による被災者(2009年9月末時点で死者数246名、37万被災世帯、避難民72万人)を支援するため、フィリピンで活動する日本の国際協力NGO16団体のネットワーク「日比NGOネットワーク」(JPN)と協力し、緊急募金活動を行った。

この募金活動の結果、666,607円の募金が集まった(うち50万円は(財)地球市民財団)。

(財)地球市民財団からの寄付金50万円のうち、現地実施費として40万円を現地実施団体PhilDHRRAに送金した(2009年10月19日)。

(2009年度収入:666,607円、支出:666,608円)

◆現地支援事業概要

【実施事業名】 アンゴノ市における台風16号被災者緊急救援物資配布活動

【実施団体名】 フィリピン農村人材開発パートナーシップ

Philippine Partnership for the Development of Human Resources in Rural Areas (PhilDHRRA) URL: <http://www.phildhrra.org>

【実施地】 リサール州アンゴノ市バランガイ・サンビセンテ

Barangay San Vicente, Municipality of Angono, Province of Rizal

【対象世帯数】 250世帯

【実施期間】 2009年11月27日~2009年12月7日

【主な内容】

	内容	数量	1世帯当たり配布数量	寄付者
1	米	25袋 (1,250キロ)	5キロ	ACC21 ((財)地球市民財団 からの助成による)
2	ビスケット	250袋	1袋	
3	サバの缶詰	750缶	3缶	
4	コーンビーフの缶詰	500缶	2缶	
5	牛乳(粉ミルク)	1,000袋	4袋	
6	敷布団(寝るときに敷くもの)	250枚	1枚	
7	歯磨き粉	250個	1個	
8	歯ブラシ	500個	2個	
9	毛布	250枚	1枚	
10	石鹸	250個	1個	
11	洗濯石鹸	250個	1個	
12	バケツ	250個	1個	
13	料理用鍋	250個	2セット	ACC21(一般からの 寄付金)

6. 広報・啓発事業

1) ACC21 財政基盤強化・拡充事業

2009年度～2011年度の3年間で、ACC21の自己財源比率を増やすため、寄付サイトとのリンクや企業とのタイアップ企画などを盛り込んだ新規団体ウェブサイトの開設準備、広報宣伝活動(対外向け年次報告・活動報告書の発行、パンフレット発行)を集中的に行う。2009年度はウェブサイト、その他広報ツールを開発し、基礎固めを行った。

◆2009年度に実施した内容

(1) ACC21 ウェブサイトの刷新

ACC21の団体ウェブサイトの内容、デザインを刷新し、団体ウェブサイトを年度中に新規開設する。新しく盛り込む内容は、①詳しい事業内容の紹介、②ACC21が連携するアジア各国現地NGOとのネットワークの紹介およびリンク、③ACC21が実施する各事業の実績や成果の紹介、④アジアの開発途上国の現場からの声の紹介、⑤外部寄付サイトとのリンク、⑥企業とのタイアップ企画のPRなど。

(2) 外部寄付サイト(クリック募金など)への参加

インターネット上にある外部寄付サイトの特徴や登録条件、登録の流れに関する情報収集を行った。ACC21の団体ウェブサイトを新規公開した後(2010年度)、各サイトへの参加を検討し、随時申請を行う予定。

(3) 改訂版ACC21パンフレットの発行と普及

イメージとデザインを作成中の団体ウェブサイトと調整するため、団体ウェブサイトのイメージが固まった2010年3月に、制作会社とパンフレット制作の契約を交わした。。その前後にパンフレットのイメージおよびレイアウト案を決定し(両面/カラー/三つ折)、原稿案を作成し、入稿した(3月31日)。

(4) オンラインニュースレター（またはメールマガジン）の発行（月1回）

会員、寄付者などの支援者に定期的に ACC21 の活動報告や最新情報を届けるオンラインニュースレターの発行。2009 年 4 月より毎月末にメールマガジン「ACC21 NEWSーアジアに新しい流れをー」の発行を開始し、2010 年 3 月までに計 11 回発信した。

2) 広報・啓発事業

「グローバルフェスタ・ジャパン 2009」（2009 年 10 月 3、4 日、日比谷公園）において広報ブースを出展し、ACC21 の活動紹介を行った。

(2009 年度収入 : 3,000,000 円、支出 : 2,866,039 円)

以上

II. 組織の運営・処務に関する事項

(任意団体)アジア・コミュニティ・センター21

1. 総会

1. 通常総会

日時：2009年5月11日（月）10:30～11:10

場所：「アジア文化会館」（文京区本駒込 2-12-13）105 教室

出席：本人出席 6 名、書面議決書 2 名、委任状提出 8 名の、計 16 名（正会員総数 17 名中）

議案審議：

（第 1 号議案）2008 年度事業報告（案）について

（第 2 号議案）2008 年度決算報告（案）について

（第 3 号議案）ACC21 の特定非営利活動法人申請について

報告：

（1）2009 年度事業計画

（2）2009 年度予算計画について

（3）その他

2. 臨時総会

日時：2009年12月21日（月）10:30～11:00

場所：「アジア文化会館」（文京区本駒込 2-12-13）115 教室

出席：本人出席 7 名、書面議決書 9 名の計 16 名（正会員総数 17 名中）

議案審議：

（第 1 号議案）2009 年度長期借入金返済について

（第 2 号議案）ACC21 の解散について

（第 3 号議案）残余財産の新法人への譲渡について

2. 役員（2009年12月21日現在）

【代表理事】伊藤 道雄 立教大学 21 世紀社会デザイン研究科教授

【理事】赤石 和則 拓殖大学国際開発学部教授

毛原 清 (財) MRA ハウス 理事

小松 諄悦 (財) 渋沢栄一記念財団 常務理事

柴田 敬三 (株) ほんの木 代表取締役

清水 恭子 (有) CD-BOX 取締役

鈴木 真里 アジア・コミュニティ・センター21 事務局長

長畑 誠 一般社団法人あいあいネット 専務理事

浜田 忠久 (特活) 市民コンピューターコミュニケーション研究会 代表

【監事】秋尾 晃正 一般財団法人国際センター 理事長

3. 理事会の開催

第1回（2009年5月11日（木）10:30～11:10）

開催場所：アジア文化会館 127 教室（文京区本駒込 2-12-13）

議題：

（審議事項）

1. 2008 年度事業報告（案）について
2. 2008 年度決算報告（案）について
3. ACC21 の特定非営利活動法人申請について
4. その他

第2回（2009年11月17日（火）10:30～12:00）

開催場所：アジア文化会館 101 教室（文京区本駒込 2-12-13）

議題：

（審議事項）

1. 2009 年度事業中間報告書（案）について
2. 2009 年度中間決算報告書（案）について
3. 任意団体 ACC21 の解散、（特活）ACC21 への移行について
4. その他

（報告事項）

1. 特定非営利活動法人登記完了について

4. 職員

事務局長 鈴木真里

常勤職員 3 名、非常勤職員 1 名、嘱託職員 1 名

5. 正会員 （2009年12月21日現在、17名）

6. 賛助会員 （2009年12月21日現在）

個人賛助会員 27 名

団体賛助会員 5 団体

特別賛助会員 1 名

1. 総会

1. 設立総会

日時：2009年5月11日（月）11:20～12:00

場所：「アジア文化会館」（文京区本駒込 2-12-13）102 教室

出席：本人出席 16 名

議案審議：

（第 1 号議案）議長の選任

（第 2 号議案）特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21 の設立について

（第 3 号議案）特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21 の定款について

（第 4 号議案）設立当初の役員について

（第 5 号議案）設立当初の資産について

（第 6 号議案）事業計画および収支予算について

（第 7 号議案）設立当初の入会金および会費について

（第 8 号議案）確認書の確認について

（第 9 号議案）法人設立認証申請について

2. 臨時総会

【臨時総会の決議があったものとみなされた日】2010年1月22日（金）

【臨時総会の決議があったものとみなされた事項の提案者】代表理事 伊藤道雄

【議事録の作成に係る職務を行った正会員】 清水恭子、鈴木真里

【書面議決書提出者】（正会員 17 名中 13 名）

（臨時総会の決議の目的ある事項）

（第 1 号議案）長期借入金の借り入れについて

（第 2 号議案）正会員入会金について

2. 役員（2010年3月31日現在）

【代表理事】伊藤 道雄 立教大学 21 世紀社会デザイン研究科教授

【理 事】赤石 和則 拓殖大学国際開発学部教授

毛原 清 (財) MRA ハウス 理事

小松 諄悦 (財) 渋沢栄一記念財団 常務理事

柴田 敬三 (株) ほんの木 代表取締役

清水 恭子 (有) CD-BOX 取締役

鈴木 真里 (特活) アジア・コミュニティ・センター21 事務局長

長畑 誠 一般社団法人あいあいネット 専務理事

浜田 忠久 (特活) 市民コンピューターコミュニケーション研究会 代表

【監 事】秋尾 晃正 一般財団法人国際センター 理事長

3. 理事会の開催

第1回（2009年12月21日（月）11:00～11:30）

開催場所：アジア文化会館 115 教室（文京区本駒込 2-12-13）

議題：

（審議事項）

1. 臨時総会の開催要請について
2. その他

4. 職員

事務局長 鈴木真里

常勤職員 3名、非常勤職員 1名、嘱託職員 1名

5. 正会員 （2010年3月31日現在、17名）

6. 賛助会員 （2010年3月31日現在）

個人賛助会員 28名

団体賛助会員 5団体

以上